

NEWS RELEASE

2021年1月18日
株式会社電通ライブ

電通ライブ、新たな専門組織「DX プロデュースルーム」に これまでのオンラインイベントの実績や知見を集約し、 次世代に向けたさらなるDXソリューション開発を加速。

株式会社電通ライブ（本社：東京都千代田区、代表取締役社長執行役員：高木 正彦、以下「電通ライブ」）は、After コロナ時代を見据えたDXソリューション開発を加速させるため、1月1日付で、「DX プロデュースルーム」を以下の通り発足しました。

新型コロナウイルスの世界的な蔓延により、生活者の意識や行動が劇的に変化し、人・モノ・コトのあらゆる関わりがこの一年で一変しました。企業や各種団体による様々なイベントについても大きな変化が生まれており、オンラインイベントの定着・進化が目覚ましい状況です。

電通ライブでは、リアル場で人の心を動かし、クライアントと生活者に強いエンゲージメントを生み出す体験価値の提供を普遍的な基盤としてきました。オンラインイベント領域においてもその基盤を最大限活用し、これまでに数々の実績と専門的知見を培ってきましたが、さらにこの先も継続するオンライン化ニーズに、制作プロデュース面から対応するだけでなく、オンラインイベントの価値や機能をさらに高度化するための、ソリューション開発・技術開発・プラットフォーム開発・コミュニティ開発までを視野に、新たな専門組織としてデザイン&テクニカルユニット内に「DX プロデュースルーム」を発足。

「DX プロデュースルーム」では、社内の人材やソリューション、今までの知見・社外ネットワークを統合することで、e-sports や音楽・スポーツなどのエンターテインメント領域も含め、次の時代の新しい体験創出にも取り組んでいきます。また、電通や電通グループ各社との連携も深め、マーケティング領域・コンテンツ領域・テクノロジー領域における機能強化も進めてまいります。

<[DX プロデュースルーム]の組織構成とサービス概要>

「DX イベントプロデュース部」

記者発表・カンファレンス・展示会・コンテンツイベントなど多様なイベントのオンライン化の実績を有する専門集団。社会情勢やニーズに応じながら、オンライン&オフライン各種イベントを統合的に企画プロデュース

「コンテンツ・配信ディレクション部」

オンラインイベントの技術的知見により映像コンテンツ制作・配信業務をハイクオリティかつ安全に遂行。さらにバーチャル上のハイエンドな XR 空間演出ソリューション『LIVE_XR (ライブ_エックスアール)』※1を提供

「DX 企画開発部」

イベント&スペース領域の DX 化に向けた最先端テクノロジーの研究及び関連企業との連携強化やソリューション開発を推進。将来的には、プラットフォーム開発や技術投資も視野にライブ・エンターテインメントの次世代化の実装に取り組む

※1『LIVE_XR (ライブ_エックスアール)』とは

一般的なバーチャルスタジオやクロマキー撮影とは一線を画す最新技術を投入した、リアルタイム XR 合成システムをソリューション化。現実の被写体・人物と、バーチャルなデジタルグラフィックスの世界観やオブジェクトとの高い融合性を実現。様々なケースに応じて高次元のプレゼンテーションが可能となる。

リリース URL : <https://www.dentsulive.co.jp/ss/2020/10/20201022.pdf>

デモ映像 : <https://youtu.be/mtq0lddgO5c>

以上

【本リリースに関するお問い合わせ先】

株式会社電通ライブ 経営企画部 三島 Email : kouhou@dentsulive.co.jp

<http://www.dentsulive.co.jp>